

西暦2024年 令和6年 甲辰(きのえ たつ) 皇紀2684年

国民の祝日		年中行事		雑註	
元日	1月1日(月)	七草	1月7日	甲子	社日
成人の日	1月8日(月)	鏡開き	1月11日	1月1日	3月25日
建国記念の日	2月11日(日)	豆まき	2月3日	3月1日	9月21日
天皇誕生日	2月23日(金)	旧元日	2月10日	4月30日	八専(※12日間)
春分の日	3月20日(水)	初午	2月12日	6月29日	2月18日
昭和の日	4月29日(月)	二の午	2月24日	8月28日	4月18日
憲法記念日	5月3日(金)	ひな祭り	3月3日	10月27日	6月17日
みどりの日	5月4日(土)	新学年	4月1日	12月26日	8月16日
こどもの日	5月5日(日)	花まつり	4月8日	庚申	10月15日
海の日	7月15日(月)	メーデー	5月1日	2月26日	12月14日
山の日	8月11日(日)	端午	5月5日	4月26日	十方暮(※10日間)
敬老の日	9月16日(月)	母の日	5月12日	6月25日	1月21日
秋分の日	9月22日(日)	父の日	6月16日	8月24日	3月21日
スポーツの日	10月14日(月)	七夕	7月7日	10月23日	5月20日
文化の日	11月3日(日)	ぼん	7月15日	12月22日	7月19日
勤労感謝の日	11月23日(土)	土用の丑	7月24日	己巳	9月17日
二十四節気・雑節		二の丑	8月5日	1月6日	11月16日
小寒	1月6日	月遅ればん	8月15日	3月6日	天一上(※16日間)
大寒	1月20日	重陽	9月9日	5月5日	1月30日
節分	2月3日	十五夜	9月17日	7月4日	3月30日
立春	2月4日	十三夜	10月15日	9月2日	5月29日
雨水	2月19日	一の酉	11月5日	11月1日	7月28日
啓蟄	3月5日	七五三	11月15日	土用	9月26日
春分	3月20日	二の酉	11月17日	(※18または19日間)	11月25日
清明	4月4日	三の酉	11月29日	1月18日	天赦
穀雨	4月19日	ゆず湯	12月21日	4月16日	1月1日
八十八夜	5月1日	クリスマス	12月25日	7月19日	3月15日
立夏	5月5日	大晦日	12月31日	10月20日	5月30日
小満	5月20日	日の出・日の入り(東京)		彼岸入り	8月12日
芒種	6月5日	1月1日	日出 6時50分 日入 16時38分	3月17日	12月26日
入梅	6月10日		日出 6時42分 日入 17時8分	9月19日	
夏至	6月21日	2月1日	日出 6時11分 日入 17時36分	日曜日	
半夏生	7月1日	3月1日	日出 5時28分 日入 18時3分	1月	7、14、21、28日
小暑	7月6日	4月1日	日出 4時49分 日入 18時28分	2月	4、11、18、25日
大暑	7月22日	5月1日	日出 4時26分 日入 18時52分	3月	3、10、17、24、31日
立秋	8月7日	6月1日	日出 4時29分 日入 19時1分	4月	7、14、21、28日
処暑	8月22日	7月1日	日出 4時49分 日入 18時45分	5月	5、12、19、26日
二百十日	8月31日	8月1日	日出 5時13分 日入 18時8分	6月	2、9、16、23、30日
白露	9月7日	9月1日	日出 5時36分 日入 17時25分	7月	7、14、21、28日
二百二十日	9月10日	10月1日	日出 6時3分 日入 16時46分	8月	4、11、18、25日
秋分	9月22日	11月1日	日出 6時32分 日入 16時28分	9月	1、8、15、22、29日
寒露	10月8日			10月	6、13、20、27日
霜降	10月23日			11月	3、10、17、24日
立冬	11月7日			12月	1、8、15、22、29日
小雪	11月22日				
大雪	12月7日				
冬至	12月21日				

※期間のあるものについては始まりの日を記載しています。

西暦2025年		令和7年 乙巳 <small>(きのと み)</small>		皇紀2685年	
国民の祝日		年中行事		雑註	
元日	1月1日(水)	七草	1月7日	甲子	社日
成人の日	1月13日(月)	鏡開き	1月11日	2月24日	3月20日
建国記念の日	2月11日(火)	旧元日	1月29日	4月25日	9月26日
天皇誕生日	2月23日(日)	豆まき	2月2日	6月24日	八専 <small>(※12日間)</small>
春分の日	3月20日(木)	初午	2月6日	8月23日	2月12日
昭和の日	4月29日(火)	二の午	2月18日	10月22日	4月13日
憲法記念日	5月3日(土)	ひな祭り	3月3日	12月21日	6月12日
みどりの日	5月4日(日)	新学年	4月1日	庚申	8月11日
こどもの日	5月5日(月)	花まつり	4月8日	2月20日	10月10日
海の日	7月21日(月)	メーデー	5月1日	4月21日	12月9日
山の日	8月11日(月)	端午	5月5日	6月20日	十方暮 <small>(※10日間)</small>
敬老の日	9月15日(月)	母の日	5月11日	8月19日	1月15日
秋分の日	9月23日(火)	父の日	6月15日	10月18日	3月16日
スポーツの日	10月13日(月)	七夕	7月7日	12月17日	5月15日
文化の日	11月3日(月)	ぼん	7月15日	己巳	7月14日
勤労感謝の日	11月23日(日)	土用の丑	7月19日	3月1日	9月12日
二十四節気・雑節		二の丑	7月31日	4月30日	11月11日
小寒	1月5日	月遅れぼん	8月15日	6月29日	天一上 <small>(※16日間)</small>
大寒	1月20日	重陽	9月9日	8月28日	1月24日
節分	2月2日	十五夜	10月6日	10月27日	3月25日
立春	2月3日	十三夜	11月2日	12月26日	5月24日
雨水	2月18日	一の酉	11月12日	土用	7月23日
啓蟄	3月5日	七五三	11月15日	(※18または19日間)	9月21日
春分	3月20日	二の酉	11月24日	1月17日	11月20日
清明	4月4日	ゆず湯	12月22日	4月17日	天赦
穀雨	4月20日	クリスマス	12月25日	7月19日	3月10日
八十八夜	5月1日	大晦日	12月31日	10月20日	5月25日
立夏	5月5日	日の出・日の入り(東京)		彼岸入り	7月24日
小満	5月21日	1月1日	日出 6時51分 日入 16時39分	3月17日	8月7日
芒種	6月5日	2月1日	日出 6時41分 日入 17時8分	9月20日	10月6日
入梅	6月11日	3月1日	日出 6時11分 日入 17時36分	日曜日	
夏至	6月21日	4月1日	日出 5時28分 日入 18時3分	1月	5、12、19、26日
半夏生	7月1日	5月1日	日出 4時49分 日入 18時28分	2月	2、9、16、23日
小暑	7月7日	6月1日	日出 4時27分 日入 18時51分	3月	2、9、16、23、30日
大暑	7月22日	7月1日	日出 4時29分 日入 19時1分	4月	6、13、20、27日
立秋	8月7日	8月1日	日出 4時49分 日入 18時45分	5月	4、11、18、25日
処暑	8月23日	9月1日	日出 5時13分 日入 18時9分	6月	1、8、15、22、29日
二百十日	8月31日	10月1日	日出 5時36分 日入 17時25分	7月	6、13、20、27日
白露	9月7日	11月1日	日出 6時3分 日入 16時46分	8月	3、10、17、24、31日
二百二十日	9月10日	12月1日	日出 6時32分 日入 16時28分	9月	7、14、21、28日
秋分	9月23日			10月	5、12、19、26日
寒露	10月8日			11月	2、9、16、23、30日
霜降	10月23日			12月	7、14、21、28日
立冬	11月7日				
小雪	11月22日				
大雪	12月7日				
冬至	12月22日				

雑 節

- 節分・2月3日頃 …………… 立春の前日。もともとは立夏・立秋・立冬の前日もさせていた。
- 彼岸・春は3月18日頃、…… 春分・秋分の3日前を彼岸入り、3日後を彼岸明けといい、先祖の霊を供養し
秋は9月20日頃 墓参りなどをする。
- 社日 …………… 春分と秋分に最も近い戊（つちのえ）の日。産土神（うぶすながみ）に、春は豊作祈願、秋は収穫のお礼参りをする。
- 八十八夜・5月2日頃 …… 立春から88日目をいい、茶摘みや粉（もみ）まきの目安とされる。遅霜に注意が必要な時期でもある。
- 入梅・6月11日頃 …………… これは暦の上での入梅で、実際の梅雨入りとは関係ない。入梅という呼び名は、梅の実が熟する頃に雨季に入ること由来する。
- 半夏生（はんげしょう） …… 半夏（カラスビシャクのこと）が生える時期の意。どんなに遅くてもこの日までに田植えを済ませるという重要な雑節。
7月2日頃
- 土用（1年に4回） …………… 立春・立夏・立秋・立冬の前の18または19日間。一般的には夏の土用をさす。夏の土用の丑の日にはうなぎを食べたり、衣類などを虫干しする習慣がある。
- 二百十日・9月1日頃／…… 立春から210日目、220日目のことで、8月1日の八朔（はっさく）とともに、台風
二百二十日・9月11日頃 を警戒すべき三大厄日とされる。

二十四節気

- 小寒・1月5日頃 …… この日が寒の入り、これから節分までが本格的な冬の季節である寒の内。
- 大寒・1月20日頃 …… 立春を前に、寒さが一番厳しい頃。
- 立春・2月4日頃 …… 暦の上ではこの日から春となる。旧暦ではこの時期を新年としていた。
- 雨水・2月18日頃 …… 雪や氷がとけ始めて雨水となり、草木には萌芽のきざしが見える頃。
- 啓蟄・3月5日頃 …… 土の中で冬ごもりしていた虫が地上へ出てくる頃といわれる。
- 春分・3月21日頃 …… この日を境に昼が長くなり始める。国民の祝日だが20日になる年もある。
- 清明・4月4日頃 …… 草木の花が咲き始め、万物が生き生きとしてくる季節。
- 穀雨・4月20日頃 …… この時期の春雨は穀物をうるおし、種まきの好期をもたらす。
- 立夏・5月5日頃 …… 暦の上では夏となり、新緑が目立ち始める頃。風もさわやかになってくる。
- 小満・5月21日頃 …… 草木など、万物が長じて天地に満ち始める頃。田植えの準備なども始まる。
- 芒種・6月5日頃 …… 芒はのぎと読み、稲や麦にある針状の突起のことで、稲を植える季節の意。
- 夏至・6月21日頃 …… 北半球ではこの日、昼が最も長くなる。
- 小暑・7月7日頃 …… 梅雨も明け、日増しに暑くなっていく頃。この日から暑中見舞いの季節に。
- 大暑・7月23日頃 …… 一年で最も暑さの厳しい季節。この前後から立秋前までが夏の土用である。
- 立秋・8月7日頃 …… 暦の上ではこの日から秋だが、なお暑さが続く。残暑見舞いの季節となる。
- 処暑・8月23日頃 …… この頃ようやく暑さもおさまり始め、実りの季節も目前となる。
- 白露・9月7日頃 …… 野の草に露が宿り、秋の気配が感じられる頃。
- 秋分・9月23日頃 …… この日を境に昼が短くなり始める。国民の祝日だが22日になる年もある。
- 寒露・10月8日頃 …… 野草に宿る露は寒露と呼ばれ、秋が深まる。収穫もたけなわの実りの季節。
- 霜降・10月23日頃 …… 所によっては早朝などに霜が降り、紅葉の便りが里におりてくる。
- 立冬・11月7日頃 …… 木の葉が落ち始め、初冠雪の便りが届き始める頃。
- 小雪・11月22日頃 …… 冷たい木枯らしが木の葉を吹き飛ばし、山々には雪が積もり始める。
- 大雪・12月7日頃 …… 山では雪が降り積もり、日本海側では、文字どおり大雪になることがある。
- 冬至・12月22日頃 …… 北半球では昼が最も短くなるが、この日から徐々に日脚が伸びてくる。